

災害から立ち上がる時、復興という言葉を使います。復は「かえる、ふたたび」という意味で、災害が起きる前の生活を取り戻したいという思いを強く感じます。けれど本当は新しくつくっていくしかないのだと思います。今のこの時を受けとめて、戻りたいという思いを抱えて、この場所ですることを始めていきましょう。

## 今月のことば

いまこま

## INFORMATION

### 門徒負担金納入のお願い

毎年この時期に本寺院の護持や真宗大谷派の教化事業に対して、ご門徒の皆様より一部ご負担いただいております。本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため本山の教化事業等が縮小され、それに伴って一軒につき1,000円減額とさせていただきます。大変な社会事象の中、誠に恐縮ですがお盆をめどに納入いただきますようお願い申し上げます。

徳泉寺墓地使用の方  
14,000円  
他墓地の方  
7,000円

八月同朋会  
お盆のため  
お休みです

### 境内の花々



フイリギボウシ



## ホームページの紹介

先月号でご紹介した徳泉寺ホームページ、もう見ていただけましたか。

そうは言ってもなかなか見られる環境にない、という方もあるかも知れません。そこで、この徳報でも少しずつご紹介していけたらと思います。

トップページ、本の表紙に当たる部分です。上のように写真が五枚、スライドショーで順番に映し出されます。一枚目から順に、門の外からだんだんと境内に入り本堂の前まで。まるで、自分が歩いているように感じませんか？徳泉寺にとっては一番みなさんに喜んでいただける桜の季節を選んで撮影をお願いしました。遠方でなかなか足を延ばせない方もここでお花見を楽しんでもらえたらと思います。お寺は亡き人や仏様を訪ね、そして他でもない自分自身を尋ねるところ、生きているうちにぜひ訪れてほしいところです。そんな願いを込め、トップの言葉は「大切なあの方を他でもない私自身をたずねる」としました。

大切なあの方を  
他でもない私自身を  
たずねる

[tokusenji-sendai.com](http://tokusenji-sendai.com)

『徳泉寺報』後記  
Instagramの投稿が100を超えました。毎日一つずつ境内の花を紹介しているのですが、こんなにあるのか、と新しい発見がいっぱいです。

